

## 平成29年度第1回花巻市地域自治推進委員会 会議録

### 1 会議の日時及び場所

- (1) 日時 平成29年5月10日(水) 午前10時～午前11時30分
- (2) 場所 花巻市役所本庁舎3階 302会議室

### 2 出席委員(委員12名)

岩渕満智子会長、佐藤良介委員、清水隆太郎委員、小野タエ子委員、盛岡耕市委員、熊谷喜郎委員、新渕信郎委員、齊藤洋美委員、坂本知彌委員、阿部善郎委員、伊藤吉守委員、曾我紀子委員

※欠席委員(3名) 川村厚副会長、関喜平委員、福盛田弘委員

### 3 事務局(4名)

市村地域振興部長、佐藤地域づくり課長、佐々木地域づくり課課長補佐、佐々木地域づくり課地域振興係長

### 4 説明員(4名)

佐々木都市政策課長、粒針都市政策課公共交通係長、高橋都市政策課公共交通係主査

### 5 傍聴者 1名

### 6 議事の概要

- (1) 開会 (地域づくり課長)
- (2) あいさつ(地域振興部長)
- (3) 協議(会長)
  - ① 花巻市公共交通網形成計画(案)について  
(説明:高橋都市政策課公共交通係主査)
- (4) 閉会 (地域づくり課長)

※ 会議での主な発言内容は別紙のとおり

※ 別紙（平成 29 年度第 1 回花巻市地域自治推進委員会での発言内容）

発言者	発言要旨
佐藤地域づくり課長	<p>委員 15 名中 12 名の出席があり、花巻市地域自治推進委員会条例第 5 条に規定する半数以上の委員が出席しておりますことから、本委員会は成立しておりますことをご報告いたします。それでは、ただ今から平成 29 年度第 1 回花巻市地域自治推進委員会を開会いたします。開会にあたりまして、市村地域振興部長よりごあいさつ申し上げます。</p>
市村地域振興部長	<p>委員の皆様には、日頃より市政の推進にご協力いただいておりますことに深く感謝申し上げます。さて、平成 29 年度の市の組織改編によって、人口減少対策や地域再生等の取り組みを実践し、地域づくりを担うため、新たに地域振興部を設置いたしました。地域振興部は、地域づくり課と新たに設置した定住推進課の 2 課体制です。花巻市地域自治推進委員会に係る業務につきましては、これまでどおり地域づくり課が担当いたします。所属する部としては、総合政策部から地域振興部に移管いたしました。新たな組織体制のもとで、花巻市地域自治推進委員会の運営についてしっかり行ってまいりますのでよろしく願いいたします。</p> <p>さて、本日の委員会では、「花巻市地域公共交通網形成計画（案）」についてご協議をお願いいたしますが、本年 3 月市議会定例会の開会に際して、上田市長が平成 29 年度の市政運営に臨む所信の一端を述べる市長演説の冒頭におきまして、「花巻市立地適正化計画」及び「花巻市地域公共交通網形成計画」について触れておりまして、立地適正化計画に関わって、花巻地域の中心部で行う、あるいは検討を進める主要な取組みを述べている部分を改めてご紹介いたします。</p> <p>「昨年 6 月に、花巻市のまちづくりを進める上で今後の指針となる「花巻市立地適正化計画」を全国で 3 番目に策定いたしました。花巻地域、大迫地域、石鳥谷地域、東和地域の中心エリアに、医療・生活・商業のサービス機能を維持していくことを基本とし、その上で、花巻地域の中心部を国の支援事業が特に活用できる「都市機能誘導区域」に指定いたしました。まず、公益財団法人総合花巻病院は、昨年 12 月に移転新築整備基本構想を策定、公表したところであり、これを受けて、2 月 20 日開催の臨時議会において、移転新築に係る用地取得及び総合花巻病院移転整備支援事業補助に係る債務負担行為を含む補正予算について、ご承認いただいたところであります。また、今後、エセナ跡地を活用した広場整備を検討してまいります。花巻市では、花巻市立地適正化計画に基づく、まちづくりに関し、2 月 28 日に都市再生機構（U</p>

	<p>R)と包括連携基本協定を、立地適正化計画を有する全国の都市で初めて締結したところですが、まず、花巻地区中心部に建設を予定する花巻市立図書館について、都市再生機構（UR）に調査を依頼いたします。また、東日本大震災により被災され、みなし仮設住宅等に避難されている被災者のための災害公営住宅を花巻市上町・仲町付近に整備いたしますとともに、災害公営住宅の一部に花巻市の単独事業による店舗の誘致と地域優良賃貸住宅等の公営住宅の整備を検討し、地域周辺的生活利便性の向上と中心部への居住誘導にも取り組むことを検討してまいります。次に、花巻市立地適正化計画に掲げている、将来的に持続可能な公共交通網を構築するため、「花巻市地域公共交通網形成計画」の策定に取り組んでおります。既存のバス幹線路線を最大限守ることを前提としつつ、石鳥谷地域において、今年2月より予約乗合バスにつきまして、当日の予約が可能となる新システムを導入し、サービスの拡大に努めており、東和地域においては、本年10月を目途に、大迫地域、花巻地域においては、近い将来に、バス路線の廃止にあわせ、各地域のまちなかと周辺部を結ぶ予約乗合バスの整備に取り組んでまいります。」</p> <p>ということを、市長演述の冒頭で上田市長が述べたところであります。このように、本日ご協議いただく「花巻市地域公共交通網形成計画」は、花巻市の今後のまちづくりを進める上での指針となる「花巻市立地適正化計画」と連携した、非常に重要な計画に位置付けられるものでありますので、委員の皆様のご意見の忌憚のないご意見を頂戴したいと存じます。以上をもちまして、開会にあたりましてのご挨拶とさせていただきます。</p>
佐藤地域づくり課長	<p>それでは、次第の「3 協議」に入らせていただきます。</p> <p>花巻市地域自治推進委員会条例第4条第2項に「会長は会議の議長となる」と規定しておりますことから、以降の進行は岩渕会長にお願いいたします。</p>
岩渕会長	<p>本日、ご協議いただく案件はお手元の次第にありますとおり1件でございます。協議いただく前に、この案件に関して本委員会の事務局から説明があります。</p>
佐藤地域づくり課長	<p>この案件に関しましては、花巻市地域自治推進委員会条例第2条の規定に基づく本委員会の意見を聴かなければならない案件として市長から会長あてに依頼書が提出され、文書による回答を求められております。よろしくごお願いいたします。</p>
岩渕会長	<p>委員の皆さんからの意見をいただく前に、花巻市公共交通網形成計画（案）について、担当課の建設部都市政策課から説明をお願いいたします。</p>

高橋都市整備課主査	(別途配布した資料に基づき説明)
岩渕会長	担当からの説明がありました。ご意見ありますでしょうか？
齋藤委員	より多くの方に公共交通を利用してほしいと考えています。ただ、今回の計画内容は情報として市民にあまり伝わっていないのではないのでしょうか？今後においては、マップや時刻表を配布するような具体的な対応をしてほしいものです。
粒針都市政策課公共交通係長	計画内容については今後に市広報でお知らせしたいと考えています。また、路線マップについては既存のものを今年度に更新する予定です。
齋藤委員	こうした情報が市民に浸透すれば、観光客にもご案内できるでしょうし、利用の促進につながると思うのです。
伊藤委員	高齢者の運転免許証の返納が進む中であって、ふくろう号の利便性の向上は必要だと思います。この計画の周知にあたっては、単に広報誌に掲載するだけでなく工夫を図っていただきたい。また、配布資料によれば主要観光路線バスの利用者数は平成35年度までは208,000人ほどで続くと見込んでいますが、観光業の振興によって増加することは想定していないのでしょうか？観光客の増加は大切なことなので、例えばふくろう号に利便性を効かせて、“市内の観光地を何度回っても300円”とするといったことも考えてもよいかもかもしれません。観光バスの存在もありましたが、要は花巻駅からの接続についてもう少し考えるべきなのです。いずれにせよ、ふくろう号の巡回コースや停車位置については随時見直していく必要がありますでしょう。
粒針都市政策課公共交通係長	ふくろう号の利便性の向上については、今よりも便数を増やすことのほか、新たなルートを創設することも考えています。また周知活動を充実させるため、市広報への掲載に加えてコミュニティだよりを活用することや、必要に応じて地域に直接出向いて説明することも必要かと考えています。バスについては、まずは生活路線を確保することを優先して考えたものですが、せっかく走っているバスなので、観光にも活用することはできないものか考えていきたいです。
坂本委員	私はバスをよく利用していますが、時間どおりにバスが停車場に到着しないこともあり、私が予定時間ぎりぎりに停車場についた時には、目的のバスが既に通過してしまったのではないかと不安になることがあります。盛岡市では、こういった不安を回避するシステムが導入されているようですから、花巻市でも導入できないものか検討いただきたいです。また、新花巻駅と花巻駅をつなぐバスがほとんどないので困っています。新花巻

	<p>駅周辺には観光施設も多いので、どうにか改善していただきたいです。できるだけ隙間を埋めるような方策を考えてほしいのです。</p>
粒針都市政策課公共交通係長	<p>バスの通過がわかるシステムの導入にはコストの問題があると思います。盛岡市位の利用者数が見込めるのであればよいのですが検討はしたいと思います。新幹線駅からは2路線がありますが、実態としてはタクシーに頼っている部分が大きいです。定時に運行するバスには利用者数の問題があるのです。</p>
盛岡委員	<p>資料によりますと市の“公共交通サービスへの支出額”は平成26年に比して平成27年には300万円位減少していますが、これは何故でしょうか？</p>
高橋都市政策課公共交通係主査	<p>鍋倉線や褓衣輪線といった支線の廃止があったことが影響しているものと考えられます。</p>
盛岡委員	<p>今後についてはどのように見込んでいますか？</p>
粒針都市政策課公共交通係長	<p>現状程度で推移していくものと考えています。</p>
阿部委員	<p>高齢化が進んでおりますので、高齢者にとっても使い勝手の良い、公共路線の充実を希望します。</p>
清水委員	<p>川越市の業者では赤字路線のデータを細かく収集したり、利用者にアンケートを取ったりしながら現状分析を行って、黒字路線に転向させた例もあると聞いています。採算性は重要だと思いますが、廃止とする前にこうしたことも試みてほしいものです。また、スマートホンなどで路線検索が簡単にできるものにほしいです。</p>
小野委員	<p>花巻市では高齢者が運転免許証を返納した場合にはタクシー券を配布していますが、とても良いと思います。ただ、一人一回だけとなっておりますので、例えば“毎月いくら”といった方法のほうが良いのではないかと考えています。多少の予算はかかりましようが、市民サービスの充実するためには必要かと思えます。</p>
熊谷委員	<p>アンケートなどを行って、住民ニーズなどの現状把握に努めているようですが、浮かび上がってきた課題のどれくらいが解決できるとお考えでしょうか？</p>
粒針都市政策課公共交通係長	<p>把握した課題を一つ一つ解決していきたいと考えています。</p>
佐藤委員	<p>ふくろう号の充実や都市機能の充実の観点からも特に重要です。また、高齢者が増えていますことから、岩手中部病院へのアクセスの充足を考えていく必要があると思います。いずれにせよ、市民への周知を徹底していただきたいです。</p>

粒針都市政策課公共交通係長	中部病院へのバスは 1 時間に 1 本ありますし予約型もあります。周知を図ってまいります。
新淵委員	太田地区の路線が廃止となるようですが、確かに利用者は少なかつたものの残念なことです。太田振興会では実験的にデマンドタクシーの導入をしていますが、今後の動向を見ながらあるべき姿を考えていきたいと考えています。
岩淵委員	<p>皆様のご意見を伺って参りました。ここで本件の原案に賛成するか否かを確認したいと存じます。いかがでございましょうか？</p> <p>(一同、賛成の声)</p> <p>原案に賛成するという事によろしいでしょうか？</p> <p>(一同、異議なしの声)</p> <p>それでは原案に賛成することを本委員会の意見として市長に回答したいと思えます。付帯すべき意見などはありますでしょうか？</p>
伊藤委員	推進計画をきちんと立ててしっかりと進行管理がなされ、その進捗状況が市民に見える形で示されるよう希望します。
岩淵会長	<p>回答書の調製にあたっては、ただ今のご意見を加えたくらうで原案に賛成するものとしたしますが、その回答書の内容に関しましては会長に一任とさせていただきますと思えますがよろしいでしょうか？</p> <p>(一同、異議なしの声)</p> <p>よろしいとのことでございますので、回答書を調製のうへ、後日市長に提出いたします。なお、その内容につきましては、事務局より皆様に郵送によって報告いたさせます。これをもって本日ご協議いただく案件はすべて終了いたしました。ありがとうございました。</p>
佐藤地域づくり課長	岩淵会長ありがとうございました。以上を持ちまして、平成 29 年度第 1 回花巻市地域自治推進委員会を閉会いたします。委員の皆様、ありがとうございました。